

◆岡山大学法学部だより◆

※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送り
しています

第 151 号(2019 年 7 月 30 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

梅雨が明け、本格的な夏がやってきました。今回の卒業生からのメッセージは岡山大学法学部を卒業後、岡山大学社会文化科学研究科で勉強しながら、公務員試験を受験し見事合格、1 年で大学院を早期卒業した先輩からいただきました。

○卒業生からのメッセージ (第 51 回)

岡山大学法学部の皆さん、私は現在京都府庁で働いています。

私は京都府庁への採用試験を 2 回受けました。1 回目の採用試験を受けた年は、どこにも合格できなくて、生まれて初めて人生の挫折を味わいました。しかし、岡山大学には就職のための勉強をしながら、無理なく自分の研究ができるプログラムがあると教授や友人に勧められ、岡山大学の大学院に進むことにしました。

私は大学院に行ったことのメリットを 3 つ感じています。

1 つ目は、大学院にいた期間 しっかり勉強できたことです。大学院の授業は、採用試験のために勉強したい学生のため、無理なく受講できるようになっていました。また、論文のために勉強に支障が出ることも特になく、計画の立て方についても指導してもらえました。

2 つ目は、大学院生という立場で採用試験に臨めたことです。大学を卒業した後も、大学院生として岡山大学に残ることで、キャリアセンター等も引き続き活用することができたり、同じ状況の学生や院生と情報交換できたりしました。

3 つ目は、じっくりと自分を見つめることができたことです。採用試験には原則、面接があります。どんな仕事をするにも、きちんと自分を分析し、アピールしなければなりません。1 年目の採用試験で、私がどこにも採用されなかったのは、この面接対策が大きな原因だったと思います。自分の一番いいアピール方法は何なのか、モチベーションはどうやってコントロールするのかをじっくり考えることができたように感じます。

最後になりましたが、私は現在京都府庁で、ひとり親家庭支援の仕事をしています。大学や大学院で学んだ知識を直接生かせる職場とはいいいがたいですが、法の精神というのは、どの職場にも必要不可欠であると思います。お勉強頑張ってください。

薬師寺晶子 (2018 年 3 月岡山大学法学部卒業、2019 年 3 月岡山大学社会文化科学研究科卒業)

- ・本メルマガは、不定期で配信しています。
- ・法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/index.html>
- ・本メルマガには返信なさらないようにお願いします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下の URL にてお願いします。
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/local/mail/index.html>
- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。